

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時間
簿記Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	履修上の制限
1単位	演習		選択 上級ビジネス実務士選択必修 ビジネス実務士選択必修	既に簿記Ⅰを履修した人
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、簿記Ⅰ、会計学Ⅰ、経営財務論Ⅰ・Ⅱ、商法				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ、商法				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
山崎好一		非常勤講師室	講義内で指示する	授業中に指示します
授業の概要				
簿記Ⅱには2つのクラス(國分・山崎クラス)がある。クラス分けは受講生と相談の上、決定する。本授業(山崎クラス)は高校で既に簿記を学んだ人を対象とする。國分クラスは、本学で初めて簿記を学ぶ人を対象とする。本授業は簿記Ⅰの学習成果をもとに、会計上の取引と仕訳、決算修正事項、決算書の作成及びその意味を理解する。本授業は日商3級の範囲の後半を学習する。検定合格を目指す人がいれば相談の上、別途指導する。				
授業の目標				
①種々の取引の意味と簿記一をが理解し説明できるようにする。 ②決算修正と精算表の作成ができるようにする。 ③決算書の作成と当期利益の算出ができるようにする。				
授業の方法				
演習 テキストに沿った講義と問題演習。				
学習の成果(学習成果)				
①会計上の取引と仕訳を理解して説明できる。 ②決算書の作成とその意味を理解して説明できる。 ③企業活動や日常生活を会計的に考えて説明ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	シラバスの説明、概要説明、簿記一巡の流れ			
第2回目	現金、当座預金			
第3回目	商品売買			
第4回目	小口現金			
第5回目	手形Ⅰ(約束手形とその簿記的处理)			
第6回目	手形Ⅱ(為替手形とその簿記的处理)			

第7回目	その他取引Ⅰ（未払金、貸付金）	
第8回目	その他取引Ⅱ（立替金、預かり金）　小テスト	
第9回目	試算表の作成	
第10回目	決算の手続きⅠ（清算表の作成）	
第11回目	決算の手続きⅡ（決算整理事項）	
第12回目	決算の手続きⅢ（帳簿の締め切り）	
第13回目	決算の手続きⅣ（財務諸表の作成）	
第14回目	期末試験実施	
第15回目	講義のまとめ（講義全体の振り返り）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高点(S)としては、無遅刻・無欠席で、積極的に授業に参加すること
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	最高点(S)としては、90%の正解を得ること
試験	60%	最高点(S)としては、90%の正解を得ること
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
合格テキスト日商簿記３級（ＴＡＣ出版）、合格トレーニング日商簿記３級（ＴＡＣ出版）。受講生は両方を準備してください。		
履修上の留意点・ルール		
①電卓と筆記用具は必ず持参する。 ②グループワークに積極的に参加する。 ③分かりにくい点があれば積極的に質問する。 ④携帯電話の使用（送受信・その他の使用）は禁止（緊急の場合は講師に申し出ること）。		